

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立岩槻特別支援学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	本県唯一の単独の病弱特別支援学校として、課題を的確に把握した上で、学校の目指すべき方向を企画委員会で検討している。今後、移転を機に、学校に寄せられる期待を改めて把握するなどして、学校の特色や強みを更に生かしたものとなるように工夫できると更に良い。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき方向を四つの柱として重点目標が設定されている。児童生徒の視点に立った中期的な目標として、学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学部等の「学校自己評価展開シート」が作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。重点目標、評価項目、方策が適切に結びつけられてうまく機能しており、学校関係者などにも取組が適切にフィードバックされるなど体制が整備されている。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	方策と評価指標を設定するに当たり、年度当初に学校自己評価のスケジュールが示され、企画委員会と各分掌・学部等が緊密に連携して案を練り上げ、職員会議などで教職員間の共通理解が図られている。学校全体の目標に基づいた分掌・学部等の目標が設定されており、学校全体のシートに「誰が、何を」実施するのかを明記して中間進捗の確認を行うなど、組織として計画的に方策を実施している。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状や課題を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的・有機的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートを活用して評価項目の達成状況を検証し、次年度への課題と改善策を示している。移転に向けてはこれまでの成果を踏まえ、学校自己評価システムを有効に活用し、より組織的なスパイラルアップを図るよう示していきたい。	
特記事項			